

# CEATEC 2025 Global Park レポート

世界と日本をつなぐ国際展示エリアの取り組み



2025年10月、幕張メッセで開催されたCEATEC 2025において、M.I.Officeは国際パビリオンエリア「Global Park」の企画・誘致・運営を担当しました。

Global Parkは、世界各国の企業・団体が日本市場や日本企業との連携を目指して参加する国際展示エリアであり、CEATECの中でも国際交流を象徴するエリアとして位置づけられています。

## 日本企業と海外出展者が交差する展示空間

2025年は「Partners & Global Park」として国内企業エリアと一体配置されたことで、日本企業ブースを訪れた来場者が自然に海外パビリオンへ立ち寄る動線が生まれ、会場内での国際的な交流の広がりを感じられました。

従来の国際エリアに比べ、国内企業と海外企業の距離が近づいたことで、来場者の回遊性と接点が高まり、展示エリア全体として一体感のある国際展示空間が形成されていました。



## 多様な国・地域が参加した Global Park

今年のGlobal Parkには、インド、ウズベキスタン、ウクライナ、EU、カナダ・オンタリオ州などを含む7つの海外パビリオンが参加し、18カ国・39社による国際展示が実現しました。

特にインドやウズベキスタンは Global Park 初参加となり、新しい国・地域との接点が広がった点が印象的でした。

インドパビリオンでは AI・ソフトウェア分野のスタートアップが紹介され、日本企業との技術連携や市場参入に関心を示す来場者との交流が見られました。

ウズベキスタンは政府関係者の来日を伴う参加となり、現地産業やデジタル化政策を紹介する展示やセッションが行われ、日本の関係機関との新たな対話の機会が生まれました。

また、ウクライナは厳しい状況下にあいながらも IT 立国としての存在感を示し、2022 年以降継続して CEATEC への参加を続けています。2025 年もウクライナ商工会議所および IT 協会を中心としたパビリオンが展開され、国家のデジタル戦略や産業の多様性、復興と未来に向けたビジョンが紹介されました。



EU パビリオンでは、欧州企業や研究機関によるデジタル技術・環境関連分野の展示に加え、日本側登壇者との共同セッションが実施され、国際的な視点を共有する場として来場者の関心を集めました。

またカナダ・オンタリオ州は AI や先端製造分野の企業を中心に出席し、日本市場でのパートナー探索を目的とした商談が活発に行われていました。

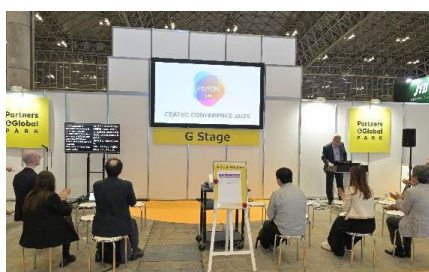
小規模国の共同展示として企画した International Showcase は、単独出展が難しい団体にとって参加しやすい形式となり、多様な地域の企業を可視化する展示として来場者の関心を集めました。



## 展示とプログラムが生んだ国際交流

Global Park では展示に加え、各国パビリオンによるトークやピッチ、オンライン連携セッションなどのプログラムも実施されました。海外登壇者による発表や日本側登壇者との共同セッションは、国際的な技術動向や政策の共有の場となり、展示だけでは得られない交流機会を創出しました。

会中には参加各国から 40 近いピッチが行われ、AI 自動同時翻訳により、それぞれの言語で自社の技術やソリューションを紹介できる点に多くのポジティブなフィードバックが寄せられました。言葉の壁をテクノロジーが越える実体験の場ともなりました。



会期中に開催された出展者交流イベント「Get Together」では、各国出展者と日本企業・関係者が直接交流する機会が生まれ、Global Park 全体として国際ネットワーク形成の場としての役割が強く感じられました。

## 国際ネットワークの広がりとは今後への展開

こうした参加は、CEATEC 運営事務局である JESA（日本エレクトロニクスショー協会）の皆さんと深く連携しながら、各国大使館や海外団体との継続的なコミュニケーションと関係構築を重ねてきた成果として実現したものではないかと考えています。

M.I.Office は Global Park 業務に携わって 4 年となり、各国・地域の団体を毎年訪問し、事務局や関係機関の皆様のご協力を得ながら関係づくりを進めてきました。



また、Global Park および各パビリオンの WEB ページ刷新や海外メディア掲載も、関係者の協力のもと実現し、CEATEC の国際展示としての発信力向上に寄与できているのではないかと感じています。

>> <https://www.ceatec.com/ja/exhibition/global-park/>

参加国の多様化と日本企業との接点拡大、そして国際プログラムの充実を通じて、世界と日本の技術・産業をつなぐプラットフォームとしての存在感がさらに高まるよう、2026 年も取り組んでまいります。

CEATEC で素晴らしい人や技術に出会えた、CEATEC に来てよかった、日本に来てよかった—そうした言葉を多くの出展者の方々からいただきました。準備や会場運営で多忙な日々の中、私たちにとって何よりの励みとなりました。

M.I.Office は、国際会議・展示会・イベントの企画運営を通じて、国内外のビジネス交流と価値創出を支援しています。

活動レポートでは、スタッフが現場や訪問先で得た気づきやトレンドをご紹介します。